

令和4年度 モビリティコンソーシアム MaaSプラットフォームPT



開始までお待ちください。

- Zoomの設定のお願い
 - カメラオン
 - お名前:「会社名_お名前」

第3回2022年12月16日

オンライン会議

オンラインで進めるにあたり、以下について設定をお願いいたします

- 名前の表示
 - 「貴社（団体）名 お名前」としてください。（例：千葉市 鈴木）
- 会議中のカメラは常時オン、マイクは発言時のみオンとしてください。
- 発言は自由となります。適宜ご発言をお願いいたします。
 - 『チャット』や『手を挙げる』機能を活用いただいても構いません。
- 録音・録画、画面の撮影は厳禁でお願いいたします。
 - 発表資料に非公開情報が含まれます。



令和4年度 モビリティコンソーシアム MaaSプラットフォームPT

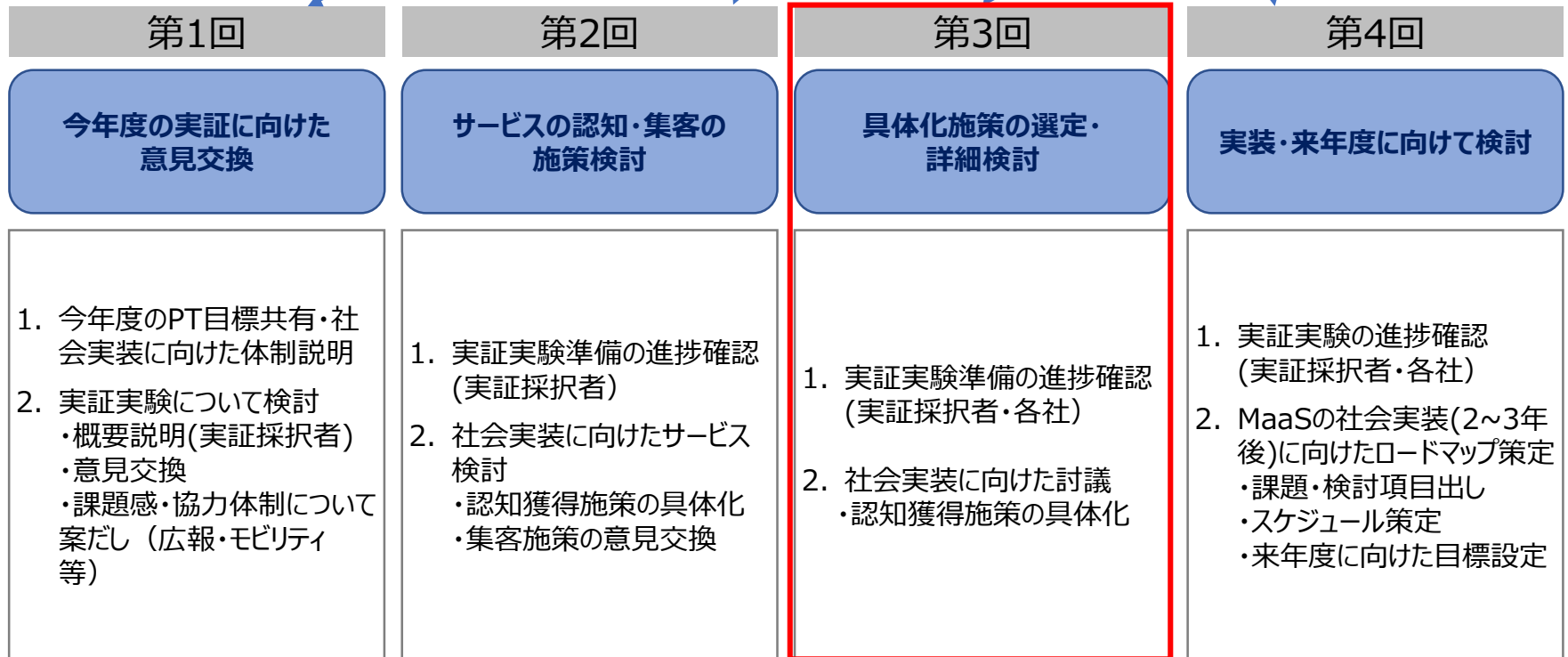


第3回2022年12月16日

PT全体の予定

全4回を通じて、MaaSの今年度の実証実験と、社会実装に向けたサービス検討・連携を深めます

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
マイルストーン			WG #1		PT #1		PT #2	WG #2		PT #3		PT #4	WG #3
実施事項				MaaS 実証公募								MaaS 実証実験	



本日の目的とアジェンダ

本日は今年度MaaS実証実験についての進捗共有とMaaS認知獲得施策の具体化検討を行います

目的

1. 今年度MaaS実証実験の進捗共有
2. MaaS認知獲得施策の具体化に関する意見交換

	アジェンダ	発表者	時間 (120分)
09:00-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
	第2回の振り返り	事務局 (千葉市)	10分
09:15-	今年度MaaS実証実験について		
	今年度MaaS実証実験について進捗共有	NTTドコモ様	10分
	質疑応答	-	5分
09:30-	MaaS認知獲得施策の具体化検討		
	認知獲得施策の事例紹介	MONET様	10分
	各社取り組みたい内容の発表(グループ内)	-	40分
	発表を受けてグループワーク	-	30分
	全体共有	-	10分

イントロダクション

本日の出席者は以下の通りです

PT参加団体名（順不同）

小田急電鉄株式会社

イオンモール株式会社

株式会社NTTドコモ千葉支店

株式会社千葉ステーションビル

損害保険ジャパン株式会社

公益社団法人千葉市観光協会

株式会社ヴァル研究所

京成電鉄株式会社

長谷川工業株式会社

シャープ株式会社

東日本旅客鉄道株式会社

三ツ矢エミタタクシーHD株式会社

MONET Technologies株式会社

本日も欠席団体名（順不同）

株式会社建設技術研究所

京成バス株式会社

久留米工業大学

公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー

株式会社日立製作所千葉支店

一般社団法人千葉県タクシー協会

株式会社幕張メッセ

東京海上日動火災保険株式会社

株式会社JTBコミュニケーションデザイン

イントロダクション

次に、第2回PT討議の振り返りを行います

	アジェンダ	発表者	時間 (120分)
09:00-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
	第2回の振り返り	事務局 (千葉市)	10分
09:15-	今年度MaaS実証実験について		
	今年度MaaS実証実験について進捗共有	NTTドコモ様	10分
	質疑応答	-	5分
09:30-	MaaS認知獲得施策の具体化検討		
	認知獲得施策の事例紹介	MONET様	10分
	各社取り組みたい内容の発表(グループ内)	-	40分
	発表を受けてグループワーク	-	30分
	全体共有	-	10分

MaaSプラットフォームPT

第1回、第2回PTでのアジェンダや検討内容は以下の通り

第1回PT（8月29日実施）

第2回PT（10月19日実施）

アジェンダ

1. 今年度のPT目標共有・社会実装に向けた体制説明
MaaSの実証実験や社会実装に向けた検討や練上げ・実装後のサービス拡張に向けた検討
2. 実証実験について検討
 - 昨年度・今年度の実証実験について報告
 - 今年度の実証実験における課題の共有
 - 昨年度実施した移動実態調査から、住民・来訪者の実態の共有
 - グループワーク：課題ごと（認知獲得、目的想起、モビリティ連携）に、解決策・協力体制検討

これまでの実証から見た課題に対する施策を検討

1. 実証実験準備の進捗確認
2. 社会実装に向けた認知獲得施策の検討
 - グループワーク：施策の具体化、施策実行の体制検討
3. MaaSを活用した集客施策の検討
 - グループワーク：MaaSを活用した集客施策の実現性の検討（集客課題、データ共有のメリット、課題）
 - グループワーク：MaaSへの自社参画の可能性の検討、MaaSを活用した集客施策のアイデア出し

来訪者等にMaaSを認知して頂くことが必要であり、また、他施策と比べて各社が連携可能な領域と考えられるため、認知獲得施策を軸に検討

主な検討内容

- 認知獲得施策（住民・来訪者）
 - リアルタイムのイベント、主要施設以外の観光資源情報
 - アナログなチラシや広告、SNS活用、地域団体/企業との連携、来訪前に認知してもらう施策
- 目的想起の施策
 - 来訪者の目的に合わせた情報提供、混雑状況/移動手段の情報提供、クーポン等の仕掛け
- モビリティ連携施策
 - 複数モビリティを横断利用できるようにする乗車券や利用料金の設計、大規模イベント時に利用してもらえ工夫

- MaaSの認知獲得施策の検討
 - 街全体で連携しモニターや風船などを活用した案内
 - ドコモショップ、その他商業店舗にQRコードを置き案内
 - イオンアプリ、決算アプリ等と連携したMaaS案内施策
 - イベント主催者にとってのメリットを打ち出す、思い出作りになるキャンペーンを実施する等
- MaaSを活用した集客施策の検討
 - 商業施設にとって、立ち寄り経路、リピーター、顧客属性がわかることは有効
 - 施設内の人流やモビリティ・駐車場データと連携できると良いがデータ連携が課題

MaaSプラットフォームPT

2回のPTを通しての検討の成果、今後の課題や要対応事項は以下の通り

これまでの検討の成果

■ MaaS機能の検討

- 提供情報の内容、モビリティ連携の検討
 - ・ コンソーシアム内外の施設と連携し、リアルタイムのイベント、主要施設以外の観光資源の情報収集
 - ・ 複数モビリティを横断利用できるようにする設計の必要性
 - ・ 混雑状況/移動手段の情報提供、クーポン等の仕掛け
 - ・ 来訪者の目的に合わせたMaaS機能のブラッシュアップ

■ 認知獲得施策の検討（住民・来訪者）

- 実現可能な認知獲得施策の内容の検討
 - ・ アナログなチラシや広告、SNS活用施策
- 実現に向けた体制の検討

■ MaaSを活用した集客施策の実現性の検討

- 認知獲得施策の内容検討
 - ・ 街全体で連携しモニター等活用したアナログな案内施策
 - ・ 施観光や店舗等と連携したMaaS案内施策
 - ・ 既存コンテンツ（アプリ等）を活用したMaaS案内施策
 - ・ 大型イベント連動のMaaS案内施策
- データ共有に向けた体制の検討
 - ・ データ共有やビーコン設置等は概ね前向き
 - ・ ビジネスモデルやデータ共有・連携方法については課題感もある

今後の課題・要対応事項

■ 来年度実装に向けた認知獲得施策の具体化

- 体制構築と計画策定
 - ・ 施策ごとに社会実装に向けた座組を決定
 - ・ 実証に向けた具体的な計画策定

第3回PT
取組内容

■ MaaS実証実験に向けた実行体制の構築

- 集客施策の実現に向けた体制構築と計画策定
 - ・ 社会実装に向けた座組や先進事例
 - ・ 実証に向けた具体的な計画策定

■ MaaSの社会実装に向けた長期的計画の検討

- 来年度以降の実装に向けて課題や施策を検討
 - ・ 最終的な社会実装の目標の検討
 - ・ 商業施設、モビリティ、地域情報等との連携体制の検討
 - ・ 住民ニーズの把握等

- ・ 第3回PTでは「認知獲得施策」の更なる具体化・練上げを目標に、各社が取り組みたい内容を共有
- ・ 併せて他の分野で取り組みたい内容も共有

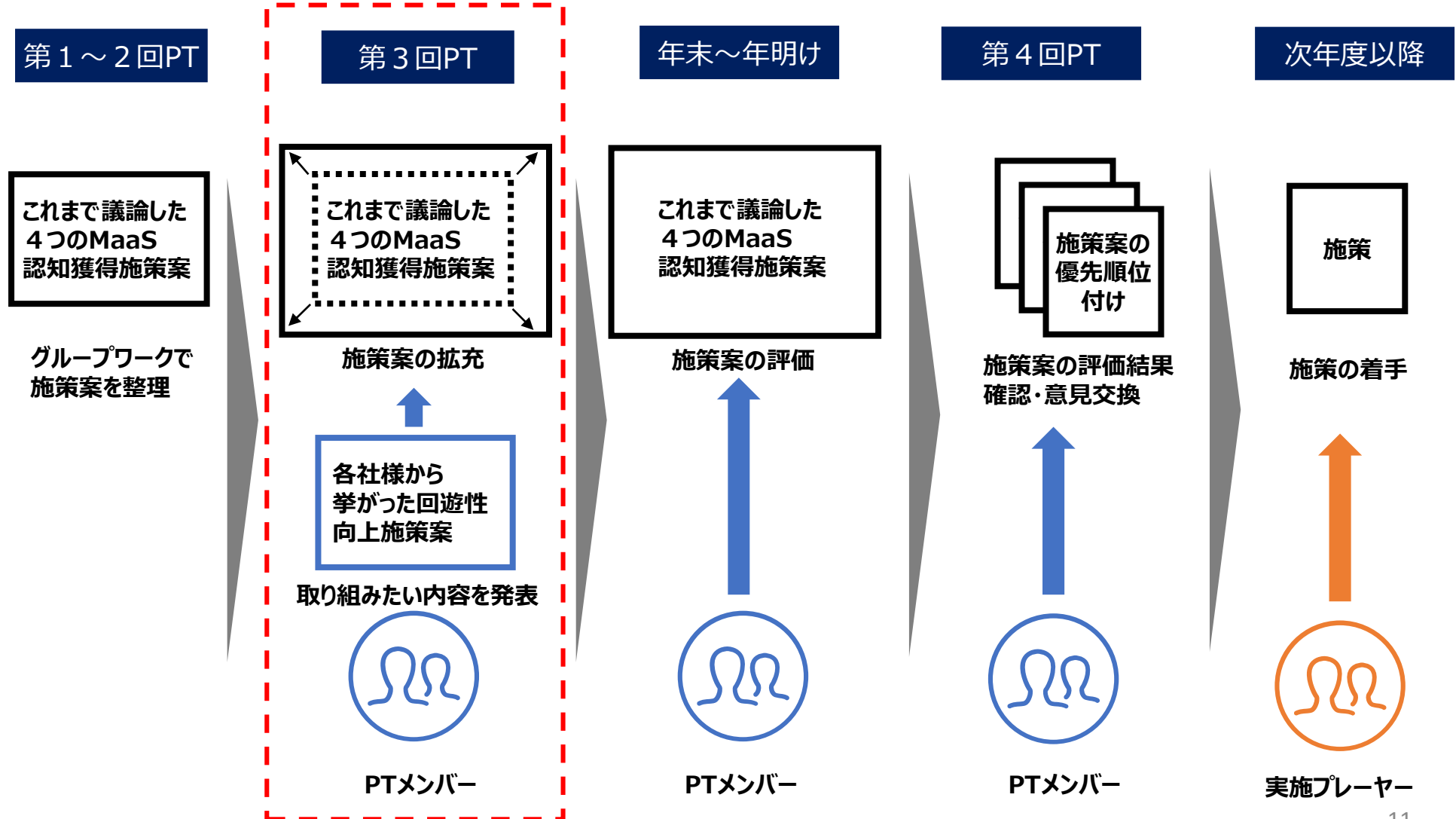
MaaS認知獲得施策案

これまでのPTでの討議を受けて、A~Dの4つの施策が選定された

	A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内	B:観光や店舗等と連携したMaaS案内	C:幕張新都心の既存コンテンツを活用したMaaS案内	D:イベント連動のMaaS案内
施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日頃から住民や就業者、就学者が訪れるような施設・金融機関・事業所のモニター等にアナログの広告を行う ■ 万人が目にする看板や大型ビジョン、バス広告ラッピングなどに注力する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ コンパクトシティとして各種機能が集積していることを活かし、観光協会や商業施設とのより深い連携し広報を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ■ カーシェア会員が訪問先でカーシェアを利用するように、当日会員になる人は少ない。また、エリア外会員⇒認知⇒利用までを一気に高めるのは難しい ■ 来訪前に認知を高めておく、もしくは他サービスとのコンテンツのバンドル化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幕張メッセ等大型イベントの来場者に対して、MaaSの取組みを認知していただくための周知・広告 ■ イベントと連動した取組み（例 スタンプラリー）を実施することでMaaSのインストール・利用を促す
利用イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 駅前を歩いたり、交差点で立ち止まったり、銀行等で待っていたりするときにMaaSの案内に気づき、MaaSを利用 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光協会や商業施設と、MaaSの相互連携でMaaSを知り、利用開始 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幕張新都心で多く利用されているコンテンツ（例 イオンモールアプリ）からMaaSを知り、利用開始 ■ 幕張新都心の定番コンテンツと非定番コンテンツを繋いだり、ついで買い需要にアプローチが可能 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幕張メッセ来訪を機にMaaSを認知し、利用開始 ■ 幕張メッセを軸とした主要スポット(商業施設・飲食店・娯楽施設)で発行した電子スタンプを集めると景品が貰える等の仕組みを作ること、多くの来訪者にMaaSを利用頂く
認知方法案	<ul style="list-style-type: none"> ■ 駅前や駅構内、バス広告、サイネージ、大型ビジョン、金融機関等でMaaSを案内 ■ 日常的に何度も案内を見ることでMaaSを浸透させる ■ 動画配信することでMaaSのイメージを理解してもらう、操作方法なども体感してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光協会や商業施設が発行する書類や管理するサイト、各施設や各種イベントなどで、MaaSを案内 ■ 商業施設等の情報もMaaSで案内する、クーポンなどの特典をつけたり、モビリティとの連携も検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鉄道の車内等で幕張新都心に来訪する前からMaaSの存在を案内・認知、定番コンテンツからもMaaSを案内 ■ MaaSからもコンテンツを案内することで双方向で価値を高める等の工夫も 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幕張メッセ(大型ビジョンへの掲載や、壁面・柱、駅から施設までの導線)での周知・広告をはじめ、駅・公共交通機関の車内広告、商業施設、宿泊施設を中心にアナログ・HP・SNS等を活用してMaaSを案内

MaaSプラットフォームPT

第3回PT以降の流れは以下のとおりを予定



今年度MaaS実証実験について

続いて、今年度MaaS実証実験について進捗共有を行います

	アジェンダ	発表者	時間 (120分)
09:00-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
	第2回の振り返り	事務局 (千葉市)	10分
09:15-	今年度MaaS実証実験について		
	今年度MaaS実証実験について進捗共有	NTTドコモ様	10分
	質疑応答	-	5分
09:30-	MaaS認知獲得施策の具体化検討		
	認知獲得施策の事例紹介	MONET様	10分
	各社取り組みたい内容の発表(グループ内)	-	40分
	発表を受けてグループワーク	-	30分
	全体共有	-	10分

22年度幕張新都心版MaaS実証実験 進捗共有

株式会社NTTドコモ

2022年12月16日
第3回MaaSプラットフォームPT

今年度MaaS実証実験について

次に、質疑応答に移ります

	アジェンダ	発表者	時間 (120分)
09:00-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
	第2回の振り返り	事務局 (千葉市)	10分
09:15-	今年度MaaS実証実験について		
	今年度MaaS実証実験について進捗共有	NTTドコモ様	10分
	質疑応答	-	5分
09:30-	MaaS認知獲得施策の具体化検討		
	認知獲得施策の事例紹介	MONET様	10分
	各社取り組みたい内容の発表(グループ内)	-	40分
	発表を受けてグループワーク	-	30分
	全体共有	-	10分

MaaS認知獲得施策の具体化検討

次に、MaaS認知獲得施策の事例紹介に移ります

	アジェンダ	発表者	時間 (120分)
09:00-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
	第2回の振り返り	事務局 (千葉市)	10分
09:15-	今年度MaaS実証実験について		
	今年度MaaS実証実験について進捗共有	NTTドコモ様	10分
	質疑応答	-	5分
09:30-	MaaS認知獲得施策の具体化検討		
	認知獲得施策の事例紹介	MONET様	10分
	各社取り組みたい内容の発表(グループ内)	-	40分
	発表を受けてグループワーク	-	30分
	全体共有	-	10分

MaaS認知獲得施策の事例紹介

MONET Technologies株式会社

2022年12月16日
第3回MaaSプラットフォームPT

MaaS認知獲得施策の具体化検討

次に、各社取り組みたい内容の発表とそれを受けたグループワークに移ります

	アジェンダ	発表者	時間 (120分)
09:00-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
	第2回の振り返り	事務局 (千葉市)	10分
09:15-	今年度MaaS実証実験について		
	今年度MaaS実証実験について進捗共有	NTTドコモ様	10分
	質疑応答	-	5分
09:30-	MaaS認知獲得施策の具体化検討		
	認知獲得施策の事例紹介	MONET様	10分
	各社取り組みたい内容の発表(グループ内)	-	40分
	発表を受けてグループワーク	-	30分
	全体共有	-	10分

MaaS認知獲得施策の具体化検討

今回は、事前に発表資料をご準備いただきました

事前



1 発表資料の準備

各社内で検討し、発表資料の準備をする



2 各社発表

グループ内で各社取り組みたいことを発表する



3 グループワーク

グループ内で施策実現に向けた体制づくりについて活発な話し合いをする

MaaS認知獲得施策の具体化検討

本日は、事前にご準備いただいた資料をグループ内で発表し、それを受けたグループワークを行います



1 発表資料の準備

各社内で検討し、発表資料の準備をする

本日



2 各社発表

グループ内で各社取り組みたいことを発表する



3 グループワーク

グループ内で施策実現に向けた体制づくりについて活発な話し合いをする

MaaS認知獲得施策のご発表内容

本日は、事前にご準備いただいた資料をグループ内で発表し、それを受けたグループワークを行います

グループ ①	「A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内」について ご発表いただき、話し合います	東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社	A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内
		京成電鉄株式会社	A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内
		長谷川工業株式会社	A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内
		シャープ株式会社	A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内
グループ ②	MaaSアプリと連携した認知 獲得施策について ご発表いただき、話し合います	株式会社ヴァル研究所	C:幕張新都心の既存コンテンツを活用したMaaS案内
		京成電鉄株式会社	その他:データ基盤MaaSJAPANのご提供
		イオンモール株式会社	A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内 C:幕張新都心の既存コンテンツを活用したMaaS案内
		株式会社千葉ステーションビル	D: イベント連動のMaaS案内
本日まで欠席の企業様 のご発表内容		京成バス株式会社	A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内
		株式会社幕張メッセ	A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内
		株式会社建設技術研究所	その他: MaaS領域での貢献範囲や事例など
		東京海上日動火災保険株式会社	その他: MaaS領域での貢献範囲や事例など

各社発表・グループワークの流れ

事前にご準備いただいた資料の発表とそれを受けたグループワークの流れは以下の通り

ワークの 目的

各社が自社内で検討可能な施策を発表することで、来年度実装に向けた認知獲得施策について具体的・現実的な検討を行う

ワークの 前提

第2回PTで選定した施策ごとに、各社取り組みたい内容をプレゼンする

ワークの 進め方

Step 1

- 自己紹介

5分(1人1-2分)

Step 2

- 事前にご準備いただいた資料をもとに、スライド3~4枚、1社5分程度で発表し、2分程度質疑応答する。発表と質疑応答が終了次第、グループ内で各企業分繰り返す

35分(1社7分)

資料の投影は各社ご自身でよろしくお願いいたします
投影が難しい場合は事務局が行います

Step 3

- 各社が発表した施策案の絞り込み
 - 複数の施策でコラボやまとめられるものがないか検討
 - どの施策から取り組むかの優先順位付け
 - ✓ 観点：実現可能性、ニーズ、期間等
- 実装に向けた討議
 - 実施体制（チーム内での協力体制、外部の巻き込み）
 - 課題の洗い出し
 - スケジュール

30分

MaaS認知獲得施策の具体化検討

最後に、各グループから全体共有を行います

	アジェンダ	発表者	時間 (120分)
09:00-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
	第2回の振り返り	事務局 (千葉市)	10分
09:15-	今年度MaaS実証実験について		
	今年度MaaS実証実験について進捗共有	NTTドコモ様	10分
	質疑応答	-	5分
09:30-	MaaS認知獲得施策の具体化検討		
	認知獲得施策の事例紹介	MONET様	10分
	各社取り組みたい内容の発表(グループ内)	-	40分
	発表を受けてグループワーク	-	30分
	全体共有	-	10分

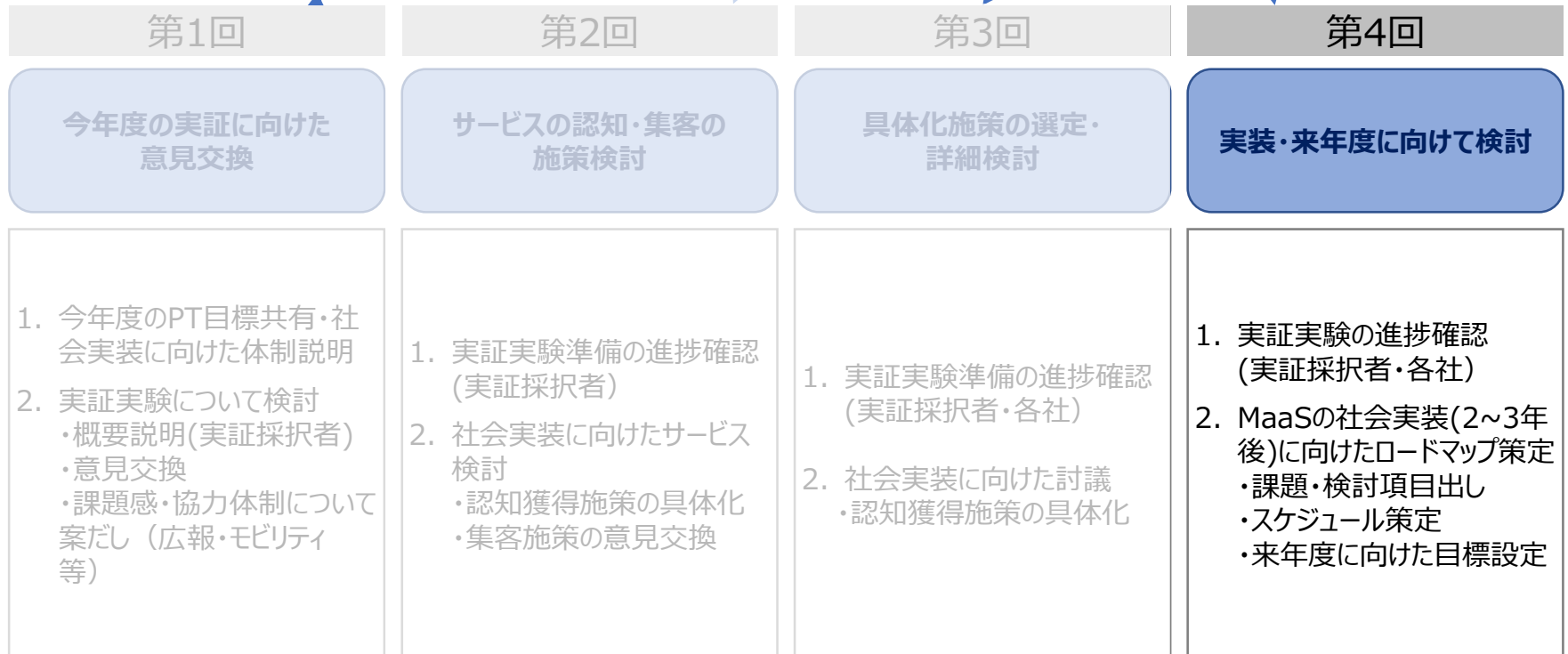
次回までのお願い・アナウンス

事務局より

PT全体の予定

全4回を通じて、MaaSの今年度の実証実験と、社会実装に向けたサービス検討・連携を深めます

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
マイルストーン			WG #1		PT #1		PT #2	WG #2		PT #3		PT #4	WG #3
実施事項				MaaS 実証公募								MaaS 実証実験	



アナウンス

次回までのお願いとアナウンスは以下の通り

1. 来年度の施策実行に向け、今年度検討した施策案を評価・選定します

■ 評価の概要

- 来年度施策実行のため、**MaaS認知獲得施策案の優先順位**をつける
※なお、MaaS認知獲得施策案以外については、別途対応を検討中

■ 評価の対象となる施策

- **議論を進めてきた4つのMaaS認知獲得施策案**
(第3回での各社様の発表・討議内容を、社名は非公開にした上で盛り込む)

■ 評価者

- PTメンバーの皆様、事務局

■ 評価方法

- 匿名でアンケートフォームで評価

■ 評価期間

- ～第4回PTまで

「学」
について

IMAGE
NOTE

令和4年度 モビリティコンソーシアム

ありがとうございました！

MAKUHARI
NEW URBAN
CENTER

以上